

2025年度上期決算後

IR面談等でよくいただくご質問について

2026年1月14日

大崎電気工業株式会社 (東証プライム 6644)

■ 本資料について

2025年度上期決算発表後のIR面談等では、投資家・アナリストの皆さんより様々なご質問をいたしておりますが、特に高い頻度でご質問いただく事項についてご説明いたします。

当社の事業構造や今後の事業見通しなどについて理解を深めていただく一助となれば幸いです。

■ 今回とりあげるご質問

Q. 海外(特にオセアニア・英国)の事業環境について詳しく聞きたい

A-1. オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド)では、製品開発力と電力業界との強固な信頼関係を背景に高いシェアを維持しています。

■ オセアニア

マーケット

- 当社はオーストラリア(東部5州*)とニュージーランド全域に強み
※ オーストラリア首都特別地域、ニューサウスウェールズ州、クイーンズランド州、南オーストラリア州、タスマニア州
- それぞれの地域で70%超のシェアを獲得
- **日本との相違点** スマートメーターの設置・運用はメータリング統括事業者が担う
(=メータリング統括事業者が当社の顧客)

主なお客様

<メータリング統括事業者>

メーターを設置して電力使用量データを電力会社に提供する事業者

PLUS ES : オーストラリア最大級の電力配電事業者Ausgridグループ
170万台以上の電力メーターを管理

Bluecurrent : オーストラリアとニュージーランド双方に事業を展開
両国で270万台以上のメーター(電気・ガス・水道)を管理

Intellihub : オーストラリアとニュージーランド双方に事業を展開
小売事業者向けに強み。250万台以上の電力メーターを管理

Yurika : 親会社はオーストラリアのクイーンズランド州政府所有の電力会社
Energy Queensland。メーターの管理台数は非開示

今後の需要動向

- <オーストラリア>
 - オーストラリア・エネルギー市場委員会が2030年までに主要地域でのスマートメーター導入推進を決定。新規需要と既納品の更新需要を見込む
 - スマートメーターの市場規模(東部5州)は 約960万台。
導入率43%(2024年11月時点)
 - オーストラリアは人口増が今後も続く(オーストラリア統計局)なかで住宅着工需要は2026年度以降底堅く推移する見通し
- <ニュージーランド>
 - 2008年からスマートメーターの本格導入が始まり、導入率はほぼ100%。安定的な更新需要が見込まれる
 - スマートメーターの市場規模は約210万台

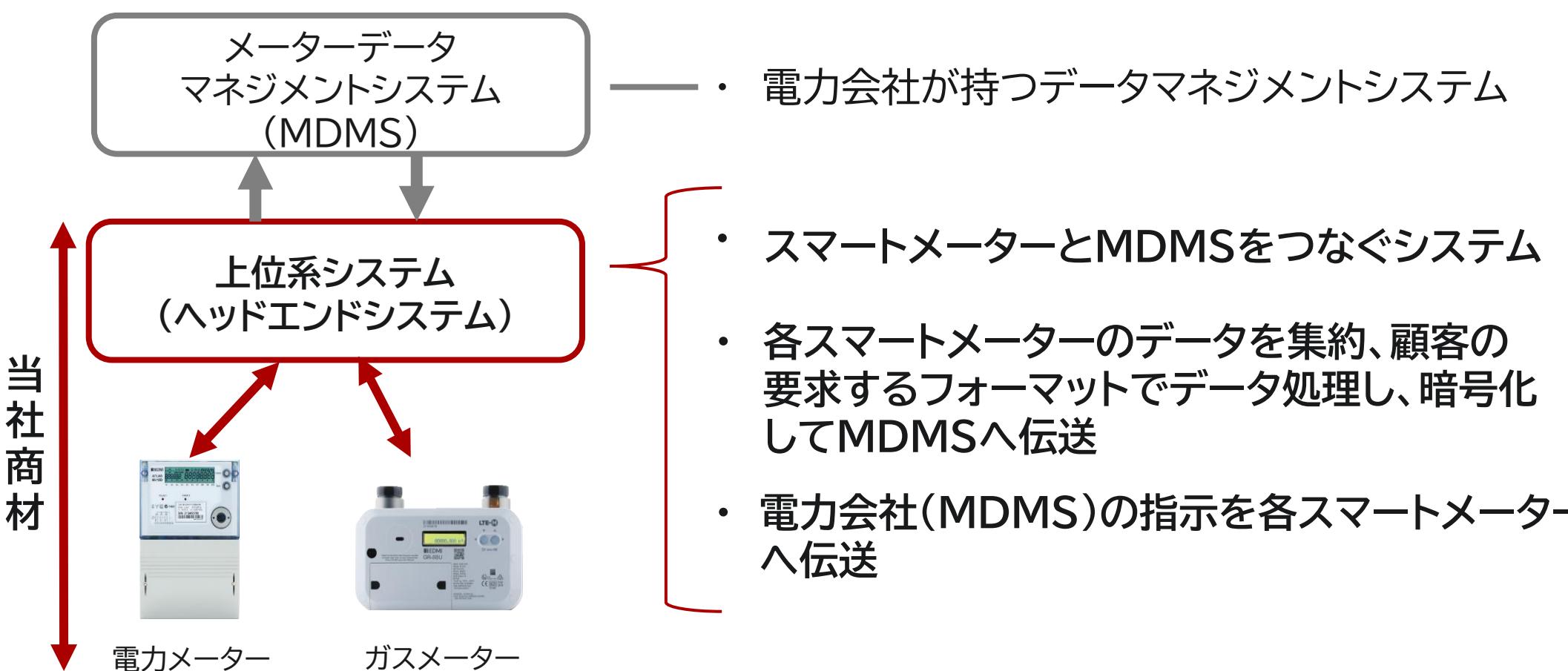
競合他社

- Landis & Gyr [イス] ● Secure Meters [インド]
- CrescoNet [アメリカ]
(各社シェアは非開示)

■ オセアニア

商材

- スマートメーターと「上位系システム」をセットで販売(高い利益率)
<上位系システム>



- 日本のような厳格なスマートメーターの法定使用期間は存在しない
- 2026年度より次世代スマートメーター「NEOS」(ネオス)を本格的に販売。収益性向上を見込む

<「NEOS」の特長>

- ・ 顧客ニーズを反映した高機能・高付加価値製品・サービスに加えメーターのハードウェアの構成を抜本的に見直し従来以上の収益性を見込む
- ・ 2026年度のオセアニアのスマートメーター販売数量のうち、およそ半数が「NEOS」となる見通し
 (2026年1月より生産を開始し、4月以降本格的に市場投入)

2025年度に発生した在庫調整の背景・見通し

- [背景] 新機種「NEOS」発売を控えた現行機の買い控え
 [見通し] 在庫調整の影響は2025年度まで。2026年度からは「NEOS」の市場投入により需要回復を見込む
- [背景] 大規模災害(サイクロン)発生に伴う州政府の予算の配分変更により、メーター設置計画が当初より長期化
 [見通し] 在庫調整の影響は2025年度まで。2026年度からは需要回復を見込む

高いシェアを維持する当社の強み

- オーストラリアで創業した企業=長年蓄積してきたオセアニアの電力業界との強い信頼関係
- 高速データ処理に優れた高い検針性
- スマートメーターに最適化した通信技術
- 優れた製品品質
- 第三者の電力管理アプリケーションを柔軟に統合可能な拡張性
- 高度な技術力を活かしたサポート・エンジニアリング体制
- 顧客需要に柔軟に対応する生産力・納期対応力

A-2. 英国での政府主導の「スマートメータープロジェクト」は2025年がピークとなる見通しです。競合他社に撤退の動きがあるなかで、当社はスマートメーターの新規需要と既納品の更新需要の獲得によりシェアを高めて、残存者利益の獲得をめざします。

□ 英国

マーケット

- 英国では政府主導「スマートメータープロジェクト※」が進行中
 - ※ 従来型の電力・ガスメーターを通信機能を持つスマートメーターに置き換える事業。電力・ガス合わせて約5,300万台を一般家庭や小規模事業者へ設置。2019年よりスマートメーターの設置が本格化
- 当社はこのプロジェクトに合わせ、英国市場にスマートメーターを投入
- シェアは20%程度

主なお客様

- お客様は電力供給事業者またはメーター設置会社
 - Centrica
 - EDF Energy
 - Macquarie
 - Horizon Energy
 - Octopus Energy
 - Scottish Power
 - Calisen

今後の需要動向

- 政府の公式発表はないものの、足元の設置状況から「スマートメータープロジェクト」は2027年度まで継続する見通し
- 新規設置は2025年度がピークとなり、2026年度以降スローダウン
- プロジェクトが終了する2027年度以降は安定した更新需要を見込む

商材

- スマートメーター(電力・ガス)*
- 日本のようなスマートメーターの法定使用期間は存在しない
- ハードウェア単体販売が中心のため、オセアニアと比べると収益性は低い
 - ※ スマートメーター用通信ハブは2025年度で販売終了見込み

競合他社

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ● Landis & Gyr [スイス] | ● Secure Meters [インド] |
| ● Kaifa [中国] | ● Aclara [アメリカ] |
- (各社シェアは非開示)

当社の強み

- 高度な技術力を活かしたサポート・エンジニアリング体制
- 市場に近い北アフリカでの生産による製品供給リードタイム短縮
- 顧客ニーズに柔軟に対応する生産及び納期対応力

今後の戦略

- 「スマートメータープロジェクト」のピークアウトにより競合他社に撤退の動きあり。当社は更新需要を中心とした残存者利益の獲得をめざす
- 収益性を優先した受注、コスト抑制、原価低減により利益を最大化



大崎電気工業株式会社 (東証プライム 6644)

事業全般に関する情報は、弊社ウェブサイトよりご入手いただけます。
どうぞご利用ください。

- ・統合報告書2025
<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/library/annual.html>
- ・インベスターZガイド
<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/news/irnews1218.html>
- ・決算関連資料
<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/library/result.html>

<本資料に関するお問い合わせ先>
コーポレートコミュニケーション部
e-mail : ir@osaki.co.jp

- 本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は事前に通知することなく変更されることがあります。
- 本資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。